

# 邇摩高校PTA広報

## Yurinoki

# 高百合樹



第 28 号

平成 30 年 2 月 28 日  
島根県立邇摩高等学校PTA

### ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

#### PTA会長あいさつ

「感謝の気持ち」と

「チャレンジ精神」を持って

郷原 寿夫



卒業生の皆さんご卒業おめでとうございませう。また、日々お子様を支えてこられた保護者の皆様には、感慨もひとしおのこととお喜び申し上げます。

さて皆さん、魅力あふれる邇摩高校での生活はいかがでしたでしょうか？総合学科という体験活動を重視したカリキュラムの中でたくさんのお勉強を学び、たくさんのかげがえのない友人と出逢えたことと思いませんか。

皆さんは、これからそれぞれ、自分が思い描いている夢に向かって新たな道を進んでいくこととなりますが、その際、是非皆さんに持ち続けて欲しいことがあります。それは、周りの方々への「感謝の気持ち」と、何事においても勇敢に挑戦していくという「チャレンジ精神」です。

一つ目の「感謝の気持ち」は、言うまでもなく、これまで色々な面で支えてもらった保護者の皆さんをはじめ、優しく、また時に厳しく指導していただいた先生方、部活動や生活面で貴重なアドバイスをしてくれた先輩、そして、三年間、苦楽を共にしてきた友人たちへの「ありがとう」という感謝の心です。これからの感謝の気持ちを忘れずに、人生を歩んでもらいたいと思います。

もう一つが「チャレンジ精神」です。これから先、皆さんが自分の夢を実現させていく上で、「失敗」はつきものです。夢が

#### 校長あいさつ

「親の心子知らず」

三島 祐司



平素より本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

三年生はいよいよ卒業です。お子様を支えてこられた保護者の皆様の感慨はひとしおであろうと推察いたします。卒業生には、総合学科ならではの体験活動を重視した本校の学びを通して身に付けた力を存分に発揮し、様々な場面で活躍してくれることを期待します。

さて、タイトルに掲げました「親の心子知らず」。皆様方も子育てをしながらお感じになったことがあるのではないのでしょうか。子どものことを思っているのにどうして理解してくれないのかという、親の気持ちを表している子どもに対する親の愛情の深さを表した言葉とも言えます。

これに対し「子の心親知らず」という言葉があります。いちいち親に口を出さないでほしい、もう子どもではないのだから放っておいてほしいという、子どもの気持ちを表しています。大人への階段を上る経過で起こる感情と言えます。

両者とも、それぞれの立場で考えると当たり前の感情です。私は子育てが一段落しましたが、どちらとも理解できません。人にはそれぞれの立場があり、その立

大きければ大きいほど、その実現は難しく、時に挫折を味わうこともあるでしょう。進学にしろ、就職にしろ、これからの人生では、今まで経験したことのないような出来事に出会うことがあると思います。しかし、そんな時こそ、果敢に挑戦していく気持ちを持つことが大事です。一生懸命努力し、物事に挑戦していく気持ちを持つことが大事です。一生懸命努力し、物事に挑戦していくことは決して無駄にはなりません。是非、チャレンジ精神を持ちながら進んでいくことを願っています。

人はだれかに助けられながら、成長していくものです。また、仲間を得ることで、支え合い、自分一人ではできないことも可能になるものです。謙虚な気持ちと前向きな姿勢を持った人の周りには、自然と人が集まり、この関わりの中で得られた「縁」は貴重な財産となり、結果として自身身に還ってきます。是非、「感謝の気持ち」と「チャレンジ精神」を持ち続け、良き仲間を借りながら、力強く今後の人生を歩んでいくことを願っています。勿論、保護者は、いづいどんな時でも皆さんの一番の理解者であり、応援団です。これからも皆さんを応援し続けますので、時には頼ってみてください！皆さんのご活躍を心から期待しています。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、先生方、そしてPTA会員の皆様、この一年間、PTA活動にご協力いただき、ありがとうございました。皆様のおかげで、無事にPTAの運営を行うことが出来ました。邇摩高校の発展とPTA活動のさらなる活性化に向け、今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

場での思いがあります。大切なのは、相手の立場になつて考え、お互いに理解する努力をすることだと思います。理解できないまでも、認めることはできるかもしれないません。それが良好な人間関係の構築につながると思います。

保護者の皆様には「保護者の心教師知らず」とお感じになったことがあったかもしれませんが、我々教職員は様々な立場の思いを大切にしながら、今後とも「心の通い合う温かい学校」を目指し、生徒の心の成長を支えてまいります。何卒ご理解いただき、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます、あいさついたします。

卒業生保護者より

テーマ「贈る言葉」

山路 英子

卒業おめでとう。

邇摩高校に入学して、友達もたくさん増え、充実した三年間を送ることができたこと、とても嬉しく思っています。部活動や体育祭、邇摩高フェアなど様々な経験のなかで、大変なこともあったと思うけど、いつも笑顔で楽しんでいました。これからは社会人となり、くじけそうになることもあると思うけど、今までどおりいつも前向きに、ひとつひとつ乗り越えていけば大丈夫。たくさんの方の友達や先生方に恵まれてここまで来られたことを忘れずに、これからも自分らしく輝いてください。家族みんなを応援しています。



林 文登

卒業おめでとう。この三年間は資格の取得や部活動、フェア等に取り組み、充実した高校生活が送れましたか。時には思うようにできなかったり、うまく伝わらなかつたり、夜遅くまで母と調べ物もしていたりしましたね。

これから社会に出ていくあなたには、もっと大変なことや思い通りにならないことがたくさんあると思いますが、これまで目標に向かって一緒に汗を流し、涙し、笑いあつた仲間や先生方との宝物のような経験が、きつと役に立つことでしょう。そして苦しい経験は自分を磨き、やがて宝石のように輝くことを忘れないでください。私たち家族も見守っています。

川島 和美

邇摩高に入学して間もない頃、汽車通だった娘が「今日汽車でおばあさんがおられて、席を譲ってあげたいと思つたけど、言い出せなくて。そしたら先輩がどうぞって自然に譲っておられてすごかつたよ。」と話していた。ほどなくしてある日、迎えの車の中で高揚した声で「今日は譲ってあげられたよ！喜んでおられたよ！」と嬉しそうに報告してくれて、こちらまで嬉しくなつた。邇摩高校ではボランティアや体験学習で様々な方とふれあい、お話を聞く機会をいただきました。現代は個人主義となり人との関係が希薄になりましたが、人を思いやる気持ち、「お互い様」の気持ちだけはなくしてはいけないと思

ます。困ったり、悩んでいる人を見かけ、もしそこで迷つたなら、勇気を出してまづ声をかけ、行動に出してみてください。大げさなことではなく、自分の周りから「優しさ」の連鎖を拡げていって、素敵なお大人になつてみてくださいね。

卒業生より



前生徒会長 今田 圭

高校三年間を振り返ると、すごく成長できた高校生活でした。

僕は、生徒会長になつてから「生徒一人一人の一生の思い出に残る学校生活にする」という目標を掲げてきました。しかし、全校生徒を引っ張っていくという仕事を果たすことができるのか、とても心配でしたが、先生方や友人・クラスメイトに支えていただき、何とか大仕事を果たすことが出来ました。ありがとうございました。

いつでも相談に乗ってくれる家族や先生・友人に支えてもらったおかげでこんなに成長することができました。

僕は、地元の学校に通いながら大好きである石見神楽を続けていきます。この邇摩高校で学んだことを次のステージでも活かしていきたい、もっと成長していきたいと思

最後に、一・二年生には「悔いの残らない」ように一日一日を過ごしていきたい、もっと良い学校になることを期待しています。

三年一組 羽手原 千紗

三年前の春、新しい制服と大きな不安を身にまとい、入学したことがつい最近のことのように感じます。

邇摩高校で過ごした三年間は、とても充実していて楽しいものでした。大きな壁にぶつかつて、落ち込んだり悩んだりもしましたが、今振り返ってみれば、どれも愛おしい思い出です。また、行事や普段の生活を通して学年やクラスに絆が生まれ、日々を重ねていくにつれて楽しさが増していきました。

最後に、どんな時でも支えてくださった先生方や友達には感謝しています。邇摩高校の生徒として学べて本当に良かったです。三年間ありがとうございました。

三年二組 田原 佳奈子

とても緊張していた入学式のことを、今でも思い出します。

体育祭や文化祭、邇摩高フェアととても充実していた高校生活でした。特に邇摩高フェアでは地域の方々と関わることで、とても良い経験になりました。そして、系列での授業や、昼休みなどの何気ない日常もとても良い思い出です。こうして高校生活を無事終えることができたのは、支えてくださった多くの先生方、友人、そして家族のおかげです。本当に感謝しています。

邇摩高生で本当に良かったです。三年間本当にお世話になりました。

三年三組 土江 辰輔

入学初日、不安と期待でわくわくしていたのを覚えています。それから時はたち、自分も含め三年生は卒業を迎えました。

自分が一番思い出に残っているのは二年生のときの文化祭でした。仲の良い友人たちと全校生徒の前で出し物をし、今ではそれが自分自身の自信へと繋がります。就職試験でも緊張することなく取り組むことができました。

別れというものは寂しいことではありませんが嫌なものではありません、それは別れがあるからこそまた新しい繋がりがあるからだと思います。三年間ありがとうございました。

教職員より

「送る言葉」



三年学年主任 勝木 仁美

「卒業おめでとう  
ございます。」  
高校での年月は長い  
人生の中で、「たかが」  
かもしれないけれど、しか

し、「されど」なのです。一生の友と呼べる人との出会いがある時。自らの進路を真剣に考える時。自分の強さも弱さも知る時。時に悩み、時に泣き、時に笑ったあの日。それは輝かしいものであったはずです。

ここに一枚の写真があります。高校三年生の夏、体育祭で仲間五人と写したも

のです。幾度となく私を元気づけてくれた若き日の存在証明です。今ではもう、

新年のたよりを交わすだけになっていきますが、それぞれが、それぞれの場所です。しっかりと人生を謳歌しています。

みなさんのこれからは、いつも順風満帆とは限りません。でも、ここで過ごした日々を心の糧に、前を向いて歩んでいってください。

「働く君へ贈る言葉」

進路指導部長 松田 直子



「目の前の仕事に  
真剣に取り組みなさい。  
きつと、見えてくる  
ものがある。」  
あれ、課された課題

に全力でぶつかって行く人であってください。成功は自信とし、失敗はその経験を糧としながら真剣に取り組み続けることが、あなたを成長させてくれると思います。

「信頼を人に求めるな。それは、自分で作り出すもの。」

焦らず、くさらず、人のせいにせず。粘り強く全力でぶつかるあなたの姿は、きつと周囲の信頼を勝ち得ていくでしょう。

どちらかと言えば物静かな人たちが多かったみんな。でも、その分、しなげればならないことをきちんと受け止めて、地道に努力する力も持っています。卒業後の新しい世界は、新鮮であると同時に、想像以上の厳しいところでしょう

が、どうか、そのみんなの良いところを大切に、大変なことがあっても短気を起

こさず、周囲の信頼を積み重ねていってほしいです。ここに引用している3つの言葉は、「働く君に贈る25の言葉」佐々木常夫著からの引用です。最後の一つです。

「君は人生の主人公だ、何ものにもその座を譲ってはならない。」自分らしく逞しく生きていってください。卒業おめでとう。

「葛藤」

三年一組担任 松尾 甲



「葛藤」を辞書で調べると、心の中に相反する動機や感情等が存在し、そのいずれをとるか迷う事と書いてあります。高校生活を振り返ると、様々なところで葛藤する場面がありませんでしたか？私は、葛藤すること自分なりの答えを導き出すこととして証ではな

いかと思っています。今後の人生、しっかりと葛藤してベストな答えを導いて下さいね。

「誇らしい自分で」

三年二組担任 立石 智美



三年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。また、保護者の皆様、三年間ご支援いただき誠にありがとうございました。

振り返ると、皆さんの成長していく姿に私自身が刺激を受け、励まされる日々

でしたが、頼りない面が多々あったと思いますが、ここまで一緒に過ごすことができましたことに感謝しかありません。ありがとうございます。この学年は、誰かが壁にぶち当たつたらみんなと一緒に考えて乗り越える、そんな優しさがありません。そんな優しい仲間を持つ自分に誇りを持って、失敗を恐れず、顔を上げて自分の道を一步一步進んでいってください。

「親愛なる三年生へ」

三年三組担任 中島 尚子



「卒業、本当におめでとうございませう。この卒業の日まで辿り着いたことは、まぎれもなくあなた方が生き抜いた「証」です。私自身も、辛い時に「あの勉強も部活も人間関係も大変だった高校時代を過ごしたのだから、きつと今の自分もどうかかなる！」と何度も思い返し、今までやってきました。これから辛いことは当然あると思います

が、やり遂げた三年間を信じて、これからのそれぞれの人生を歩んでいってください。それに、皆さんがくじけず歩む姿はきつと周りの人を元気に幸せにします。本当にありがとうございます。そして、本当に卒業しちゃうのね。正直、寂しすぎます。けれど、かわいいあなた達を、涙を呑んで次のステージへ送り出します。いつてらっしゃい！

後期の出来事

○文化祭(十一月十七日・十八日)「輝き」をテーマに、オープニングセレモニー、生徒会企画、ファッションショー、展示・体験、模擬店と盛りだくさんの企画が行われました。本年度は一日目に大田市出身のユニット「Rough」のアカースティックライブが行われ、大変盛り上がりしました。

○第二回球技大会(十二月七日) 男子はフットサル、女子はバレーボールが体育館で行われました。

○課題研究発表会(一月十七日) 各系列から選ばれた代表の三年生が校内で発表しました。

新生徒会より

新生徒会長 松本 伸

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。この度、生徒会長になりました。二年二組の松本伸です。

今まで一番前に立つ存在より、一歩下がった所にいることが多かったのですが、今回、生徒会長になり邇摩高校を盛り上げ、引っ張っていかれるか正直不安ばかりです。しかし、新しい生徒会執行部と共に協力し合いながら責任感を持って活動していきたいと思えます。また、先輩方がフアなどの学校行事を通して築き上げてこられた地域の方との交流を大切にしていきたいです。

これから先どのようなことが起きるか予想が付きませんが、平静に状況判断できるようにしたいです。一日一日を楽しみ、明るく過ごしていけるよう頑張ります。これからの新生徒会執行部をよろしくお願ひします。

後期部活動報告



弓道

○県選手権  
女子団体 36射14中(予選敗退)  
女子個人 3位村田12射9中  
(中国新人大会出場)

○中国新人大会 村田8射3中  
(予選敗退)

男子バスケット

○県選手権 邇摩25-195松江商業  
○県新人戦 邇摩46-104大社  
○バレーボール  
○県選手権 邇摩2-0益田翔陽  
邇摩0-2平田

○県新人戦 邇摩2-0島根中央  
邇摩0-2松江農林

○県新人戦 団体一回戦 邇摩0-2松江南  
女子ソフトテニス

○卓球  
団体一回戦 邇摩1-2松江東

○県選手権  
男子学校対抗一回戦 邇摩1-3出雲西  
女子学校対抗一回戦 邇摩0-4津宮クラブ

○県新人戦 男子学校対抗一次リーグ  
邇摩1-3情報科学 邇摩1-3出雲  
女子学校対抗一次リーグ 邇摩0-5隠岐  
邇摩0-4松農 邇摩0-3明誠

○県新人大会  
団体 男子一回戦 邇摩0-3松江北  
女子一回戦 邇摩0-3松江南

○野球  
男子D 田中・山下 ベスト16

○秋季野球大会二回戦 邇摩1-6江津  
○石見地区高等学校一年生野球大会  
一回戦 邇摩2-12江津

○柔道  
男子個人 永瀬1位 松原2位  
女子個人 松原1位

○県新人戦 男子団体3位(中国新人出場)

○中国新人戦  
男子団体(予選0勝3敗)  
男子個人 永瀬2位  
女子個人 松原1位(全国大会出場)

○吹奏楽  
○全日本吹奏楽コンクール島根県大会  
高校小編成の部 金賞

○写真  
秋季写真コンクール  
特選 尾崎・荊尾・竹下・知野見

○島根県高等学校写真展 奨励賞 竹下

○書道  
○県書道コンクール 特選 川下  
奨励賞 川下

○県書道展 奨励賞 川下

○文芸  
県文芸コンクール  
詩の部 優秀作1位 萱堂  
(平成30年度全国高等学校総合文化祭信州大会出場)

○俳句の部 優秀作3位 岩木  
小説の部 優秀作3位 萱堂

○石見神楽同好会  
第7回高校生神楽甲子園  
神楽伝承奨励賞  
第17回郷土芸能の集い  
優秀賞  
(平成30年度全国高等学校総合文化祭信州大会出場)

○農業クラブ  
意見発表県大会  
区分一類 優秀賞 宮脇魁人  
区分二類 優秀賞 坂根亜美  
区分三類 優秀賞 飯島太斗

○プロジェクト発表県大会 区分一類  
優秀賞 梅木祥太・中島勇輝  
熊谷颯真・渡邊大翔

○家畜審査競技県大会  
個人優秀賞 長島・木下・三浦・  
松尾・梶谷・今岡・  
熊谷・石飛

○家庭クラブ  
家庭クラブ連盟研究発表大会  
ホームプロジェクト最優秀賞 山内  
優秀賞 岩石

○家庭クラブ 最優秀賞 郷原・富尾

○その他  
○大田市短歌大会  
ジュニア部門 選者賞 羽手原

○第16回連歌甲子園  
優秀賞 岩石

資格取得

○国語科  
漢字検定 準2級4名、3級4名

○英語科  
英語検定 準2級1名、3級1名

○家庭科  
食物調理検定 1級13名、2級7名  
被服製作技術検定  
和服1級8名、和服2級11名  
洋服1級9名、洋服2級9名

○保育技術検定  
造形表現技術1級3名、2級3名  
言語表現技術1級3名、2級3名  
家庭看護技術1級3名、2級3名

○ビジネス系列  
全商珠算・電卓実務検定  
電卓1級3名、2級12名

○全商簿記実務検定 2級6名、3級6名  
全商情報処理検定  
ビジネス情報 2級13名、3級8名  
全商ビジネス文書実務検定

○全商ビジネス文書実務検定  
1級6名、2級31名、3級62名

○農業系列  
小型車両系建設機械 2名

○食生活アドバイザー3級3名  
福祉系列

○介護職員初任者研修課程 26名  
認知症サポーター 26名

○あいさポーター 2526名  
○普通救命講習一 2526名